

SPORTEC2024出展します

コンシーマ事業部
八木 涼也

7月16日(火)から7月18日(木)にかけて、東京ビッグサイト東展示棟にて開催されます日本最大のスポーツ・健康産業に関する国際的な総合展示会SPORTEC(スポートテック)2024に出展いたします。

出展内容は、主にフィットネスクラブ様における防音・防振対策をコンセプトにトレーニングマシンの振動音やダンベル等が落とした際の衝撃音を和らげる「ジムボードネオ」とトレーニングエリアの仕上げ材「ラバーマット」を中心にその他商品を出展、ご提案いたします。

建物の2階、3階で運営されているフィットネスクラブ様では階下からのクレームに苦労されていると伺います。当社ブース内では「ジムボードネオ+ラバーマット」の上にダンベルを落として実演するコーナーを設けており、商品の防振性を体験していただきご確認

いただけます。

「ジムパッド」はトレッドミル(ランニングマシン)用とその他マシン用の2タイプございます。防振性の高い素材の「防振ポリウレタン」を2層構造で使用しており、トレーニング機器から発生する振動による階下や階上からのクレーム対策におすすめです。簡単に後付け施工ができ、マシンの下に置くだけなので特別な施工が不要です。

他にもフィットネスクラブ向けの商品をご紹介いたします。フィットネスクラブ等への商材の販売や施工業者様のご来場をお待ちしております。

今回紹介する商品のご使用や販売、カタログのご希望は、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 コンシーマ事業部
TEL 0791-62-0088



KLASS職場紹介

食品機器事業部

編



①仕事内容・人員構成

業務用厨房機器(マルチディスペンサー・麺水切機・素麺関連機器)の販売を中心に、それら商品のメンテナンスも対応しております。またお客様からのニーズを具現化するため、引合いがあれば自ら足を運び、新商品の開発をいたします。人員構成は、食品機器事業部(4名)と業務課(2名)の合計6名で、営業・メンテナンス・事務に担当をきめて仕事

しております。少人数のため多忙を極めていますが、和気あいあいとした雰囲気です。

②大変なこと・やりがいを感じること

全国展開の外食チェーン様ご利用いただいておりまして、全国各地から毎月400件ほどの設置やメンテナンスのご依頼があり、迅速かつ丁寧をモットーに対応しております。飲食店は、営業時間も長く、土日祝日が“かきいれどき”ですので、それにあわせアウトソーシングを活用し、お客様に満足していただけるサービスをご提供しております。店舗スタッフ様から「仕込み作業がなくなり厨房作業が楽になった」とのお声をいただいたときや、飲食店を利用した際、当社の機器で提供されたメニューを召し上がるお客様の笑顔は、非常にやりがいを感じます。

③地域特有のものの紹介

本社がある兵庫県(西播磨地区)は、

素麺の産業が盛んで、麺帶巻き取り機(マキトールL)やゆで麺機、夏の風物詩であるそうめん流しを手軽に味わうことができるそうめん流し器の販売もおこ



今月の表紙

今月の表紙は、2024年5月17日(金)当社神岡工場での日本赤十字社 兵庫県赤十字血液センターによる献血の様子です。

人生初の献血の従業員を含めて多くの方が業務を止めて献血に参加しました。今後も社会貢献活動の一環として献血活動に協力してまいります。



to

2024 06 vol.580

- ・昭和100年を想う
- ・建築業界向け見積・請求管理クラウドツール「Goolip」(インテリア)
- ・職場紹介 食品機器事業部
- ・導入事例 青木豊店様
- ・スポーツテック2024出展します(コンシーマ)

「昭和100年」を想う

▲マンスリーキャンペーン
第496号(2017年6月)
巻頭言 「明治150年を迎えて」

代表取締役社長
頃安 雅樹

GW谷間の5月1日、天皇陛下が在位5周年を迎えられたとの報道があった。令和の5年間の大半がコロナ禍と重なり、重要行事へのお出ましままならず、やむを得ずオンラインでのお出ましに変化せざるを得なかったとのことである。二類から五類に変更されて丸一年を迎えたコロナは、国民はもとより天皇陛下にまで不便さ、変化への対応すなわち「行動変容」を強いることとなったことを改めて痛感した次第である。

さてあまり話題にはならないが、本年は昭和99年、来年(2025年)が昭和100年に当たる。明治100年の時の「明治」の扱いは、記念切手も発行され、文明開化と日清・日露の両戦争を経て、短期間で欧米に比肩しうる先進国の仲間入りをしたとの肯定的な扱いであったと記憶している。

それでは昭和100年の来年は、「昭和」はどのような扱いになるのだろうか?

昨今の報道ではもっぱら「昭和=レトロ」、つまり今の常識からすると考えられないことが生活面、風俗・習慣面などで行われていたという、極めて皮相的で安直、もっと言えば「笑いの種」のような単純な捉え方しかなされていない。

昭和初頭の「不幸な20年間」のために、それに続く復興と高度成長の「輝かしい30年間」さえも曇りがちで、あまりクローズアップされなくなっている。その代表例として、1度目の東京オリンピック(1964年)、大阪万博(1970年)は、復興と成長のシンボルとしてまさに一大国家的行事であったが、それぞれが2度目を迎えると、税金の無駄遣いといった後ろ向き、

否定的な声の方が大きくなつたことは誠に残念である。

また、欧米流の経営システム等の流入により、かつて我が国の高度成長を支えた「日本の経営システム」までもが軒並み否定されるに至っていることも、このような国民感情を増幅させる結果となつてしまっている。

「昭和=レトロ」という極めて単純な捉え方も、以上のような様々な議論を国民の間であえて引き起こさないために意図的になされていると考えるのは穿ち過ぎであろうか?

かつて私が話題にした(マンスリーキャンペーン第496号)明治150年も、世間ではほとんど話題にならなかつたように思う。世間で来年がどのように扱われようとも、私は私なりの捉え方でしっかりと受け止めたいと考えている。

インテリア事業部 商品紹介

電子帳簿保存法対応 建築業界向け見積・請求管理クラウドツール「Goolip」

Goolip推進グループ
グループ長 上原 広大

建築業界向け、見積・請求管理クラウドツールGoolip／グーリップに搭載された新しい機能をご紹介します。

電子帳簿保存法が2024年1月より義務化され、どのように対応していいか悩んでいる方が多くいらっしゃると思います。

そんなお悩みを解決できる機能として、Goolipは見積書や請求書など電子化する書類の履歴管理ができるようにバージョンアップし、より便利なサービスとして皆様にご提供できるようになりました。

事業形態やご予算に合わせた4つのプランをご用意しております。どのプランも最大2カ月無料トライアル期間がありますので、ぜひこの機会にご利用ください。

詳しくは「Goolip」で検索、もしくは右記二次元コードよりアクセスください。

●電子帳簿保存法に対応! 履歴管理!
クラウド上で履歴を管理するので、データ消失の不安も解消されます。



●メール送信機能搭載!
メール送信機能では、Goolipから直接取引先にメール送信でき、相手先は見積書や請求書をダウンロードして確認できます。



畳事業部 リニューアル紹介

「はんじょうくん YouTube」 見たい動画が見つけやすくなりました!

<https://www.youtube.com/@hanjokun>

「はんじょうくん YouTube」の動画をタイプ別に分類し、見たい動画が見つけやすくなりました。見つけてご視聴ください♪

機械実演の動画【規模別・タイプ別】に分類!

導入店を規模別・タイプ別、畳機械やふすま機器を機種別に分類。見たい動画がすぐ見つかります。
「スーパーミニライン」導入店(34畳店)
夫婦(11畳店)・親子(9畳店)・1人(8畳店)・
兄弟・多人数(6畳店)に分類
「コンパクトライン」導入店(21畳店)
女性が活躍する畳店(17畳店)
「機種別」分類(15機種)

畳事業部発表セミナー 【全国11畳店】発表動画紹介

構造改革店
特徴1人・多角化
1福島県 吉田畳店 様
8長崎県 みぞぐち畳インテリア 様
特徴親子・商圈人口少ない
2福島県 赤塚畳店 様

《特徴》親子・京都畳訓練校卒・補助金活用
〔3〕神奈川県 株式会社 野上 様
〔4〕山梨県 堀田畳製作所 様
《特徴》親子・京都畳訓練校卒
〔5〕滋賀県 山田ため畳店 様
《特徴》夫婦
〔6〕広島県 松井製畳 様
《特徴》兄弟・京都畳訓練校卒・ネットショップ
〔7〕佐賀県 寺崎畳店 様
■大型店
《特徴》女性の活用・支店展開・多角化・補助金活用
〔9〕茨城県 株式会社 関川畳商店 様
〔10〕大分県 二豊製畳 有限会社 様
《特徴》女性の活用・ネットショップ・補助金活用
〔11〕福岡県 有限会社 佐藤商店 様

お問い合わせは、営業担当または畳事業部
(TEL 0791-62-1772)
までお願いいたします。
「はんじょうくんブログ」
<https://klass-tatami ldblog.jp/>



夫婦仲良く 末永く続けるお店へ

東京都立川市
青木畳店様

畳店様紹介

青木畳店様は、東京都青梅市でお祖父様が創業され、間もなく創業100年を迎えられます。

店主で3代目の青木信男様は、20歳の時に実家を離れ、東京都内の畳店様で約6年間修業され、1992年に奥様の地元である立川市で独立、開業されました。今も当時と変わらず夫婦二人三脚で、お客様から愛されるお店を営まれています。

機械導入のきっかけ

信男様はフットワークが軽く、気になる畳店様に訪問されており、「極東産機(旧社名)の機械は寸法精度が良い」との噂を聞かれ気になっておられました。2018年6月、当社開催の「JCS研究会」にオブザーバーとしてご夫婦で参加。その後、機械を確認され2021年1月に「ものづくり補助金」を活用し「両用ロボットVICTORY」を導入と同時にコンサルティング受講を開始し、構造改革をスタートされました。

「極東社員みんなの対応が気持ち良かったことも極東に決めた要因」と導入後に青木畳店様から教えていただきました。

気に入っていたいっている点

以前から噂に聞いていた通り、大変寸法精度が良くて重宝しています。今まででは畳の厚みが変わるたびに機械の調整が必要でしたが、基本的にはタッチパネルの設定だけで、無駄な時間が減りました。

導入後の感想

作業効率が上がり、製造にかかる時間が読めるよう



なり、予定が立てやすく残業が減りました。奥様もボタン操作や糸くずのカットなど、工場内でもご主人のサポートをされています。

今後の抱負

信男様は還暦が近付いてきましたが、「まだまだ気持ちも身体も若く生涯現役を目指し、これからも地域に根付いたお店作りを続けていきます。」と意気込みを伝えてくださいました。

このたびは取材にご協力いただき、誠にありがとうございました。これからもご夫婦仲良く、青木畳店様の益々のご発展とご活躍を祈念いたします。



品番:E1-4050
価格:オープン

畳事業部 主任 橋本 刚史